

NETIS登録番号	技術名称	アスキッド工法			
QS-130027-A	副題	鋼製伸縮装置等表面のスリップ事故防止を目的とした長寿命滑り止め溶射技術			
分類1	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	防食対策工	キーワード:コスト削減・公共工事の品質確保、長寿命化 滑り止め 安全走行	
分類2					
開発目標	経済性の向上、耐久性の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号):特許5300314号『滑り防止用溶射皮膜の形成方法』 <input type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社富士技建		TEL	092-934-3776
	住所	〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美2450-1		E-MAIL	k.fujikawa@fuij-giken.co.jp
	担当者	福岡工場 技術部 藤川 圭介			
実績件数 H26現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	件		件		11件件

技術概要:(300字以内)

①何について何をやる技術なのか?
道路橋の鋼製伸縮装置等の鋼材表面へ、耐摩耗性と防錆・耐剥離性を兼ね備えた合金をアーク溶射する技術です。

②従来はどのような技術で対応していたのか?
耐摩耗性合金溶射。

③公共工事のどこに適用できるのか?
鋼製伸縮装置の表面。その他滑り止めが必要な鋼構造物表面。

記入欄

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

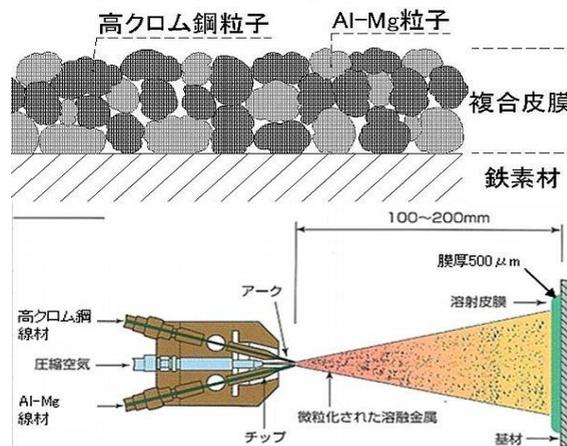
・滑り抵抗性の向上を目的とした高クロム鋼と、防錆を目的とするAl-Mg合金との複合皮膜で、長期防錆・耐剥離性に優れ、滑り止め効果が持続する。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

- ・複合皮膜としたことで、溶射材料費が安価となり、経済性の向上が期待できる。
- ・長期防錆,耐剥離性に優れることから、品質の向上が期待できる。

複合皮膜
アーク溶射における2本の溶射線材がそれぞれ異なる材料により構成された溶射皮膜。
(合金に擬した皮膜として、擬合金皮膜とも呼ぶ。)

※ 滑り抵抗性を向上させる高クロム鋼と、防錆効果を向上させるAl-Mg合金との複合皮膜にすることで、滑り止めの効果を持続させながら長期防錆の効果を発揮することができる。



アスキッド溶射仕様

施工箇所	鋼製伸縮装置等
施工目的	滑り止め
溶射材料	高クロム鋼・Al-Mg合金
溶射膜厚	500 μm以上
封孔処理	シリコン樹脂